



## 外国のタブーと宗教事情の関係

2017 年 9 月 27 日

〇〇 〇〇

### 1. はじめに

第2回の授業では「外国でタブーだが日本は普通のことである」という内容が述べられた。そこで私は、アニメやゲームでどのような“外国のタブー”が実際に存在し、何故規制の対象となされているのか疑問に思い、この事柄について調査した。

### 2. 調査結果

タブー(規制)であるのは主に、宗教とポルノ問題が関わっていることが分かった。

日本の作品には、当然のように裸のシーンやパンチラといった表現(軽度のモノ)が子供向けアニメや漫画でもなされている(例えば、ドラえもん)。しかし、外国ではタブーであり、規制の対象となってしまう。だが、逆に暴力的な表現は日本ほど抵抗がなく、特に問題としては上げられてはいなかった。これらの結果は全て、宗教が関わっていた。聖書の中には性に関することは全て道徳的に間違っており、罪深いものと信じられているが、逆に暴力的な表現は聖書でもよく書かれている為、規制する必要性は余り出てこないということである。また、宗教が関する歴史や事象も下手に触れることが出来ない。

### 3. 考察

宗教に関する事柄は深刻な問題でもある外国では、ゲームやアニメなどにそういった内容(そう思われる内容)を取り込むことは出来ない。しかし、日本ではそういった問題はなく、数多くの作品で宗教的な内容も取り上げられている。外国で日本の作品がタブー(規制)とされる理由として、無意識にそういった宗教的な内容も取り上げているからだと考えた。他にも、宗教的にタブーとされる表現も多く使うことが日本では可能である為、タブー(規制)とされる原因だろう。

また、文化と認識の違いには少なからず宗教が関わっており、**宗教のしぼりが弱い(無宗教者ではない!)**の多い日本人では理解できない感覚が多く存在する。これも日本人が無意識に宗教に関する内容を入れてしまう原因の一つだと考えられる。結果、“外国のタブー”へとつながり、規制の対象になると考える。

### 4. まとめ

外国のタブーは宗教が関わっている。その為、無宗教者の多い日本人がタブーだと思わないことは当然と言える。

### 5. 参考文献

- ・『そと速』 <http://blog.livedoor.jp/sotosoku/archives/4745347.html>
- ・『Gamer\_CEDEC2013』 <https://www.gamer.ne.jp/news/201308310004/>
- ・『MANGA 王国ジパング』 [http://world-manga.at.webry.info/201205/article\\_1.html](http://world-manga.at.webry.info/201205/article_1.html)

⇒良く書けています。外国のタブーは宗教が係わっている、ポルノには厳しく、暴力にはそれほど厳しくない。  
もし海外を相手に作品を作るなら、その国の宗教は調べる必要があるのだ。